

「国と地方の協議の場」(第13回)終了後の
地方六団体会長共同記者会見概要

日 時：平成 17 年 11 月 24 日(木) 18:30 ~ 19:00

場 所：都道府県会館 6 階知事室

会見者：全国知事会会長 麻生 渡

：全国都道府県議会議長会副会長 新田 篤実

：全国市長会会長 山出 保

：全国市議会議長会会長 国松 誠

全国町村会会長及び全国町村議会議長会会長は、所用により欠席。

麻生全国知事会会長

今日の国と地方の協議は二つに分かれていた。前段は 4 大臣と我々の協議。後段は各 6 大臣が参加した形での協議。それぞれ 30 分弱ずつ。

まず 4 大臣との協議については、まず地方側から総括的な意見を言えということだったので、皆さんにお配りしている三位一体のペーパーに基づいて発言をした。これについてはかねてから申し上げたとおりだけれども、この他に言ったのは、三位一体改革はやはり地方と国の在り方、責任分担を変えることによって、地方の創意工夫を引き出そうという小泉内閣の 2 大改革だと。これは大きな理想をもってやろうと。理念とか理想とかから見た場合に、およそ三位一体改革にならないような項目が入ってくるということになれば、三位一体改革なり分権改革は根底から崩れてしまう。そのような我々として、受け入れ難い案を作らないでほしいと言うことを強く申し上げた。

引き続いて、主として生活保護の点について、山出会長の方からお話をお願いしたい。

山出全国市長会会長

改めて、私はどうしても生活保護について言わなければならない立場にあるので、言わせていただく。総理大臣の言葉に従うと、「地方案を尊重する」と。地方案は、生活保護は別だから改革の対象からはずすというのが、地方案だったわけである。それをあえて持ち出してくるというのは、総理大臣の気持ちに反するというのを申し上げた。生活保護費を入れなかったら、消化できないというわけであるが、施設整備の補助金があるよと、児童館とか保育所とか老人ホームとかがあるよと。それから、児童保護費負担金というのがありますが、私

は別に保育所の運営費の負担金はありますよと。既に、公立の保育所のそれについては、去年一般財源化を終えており、その結果何の不都合もない、ということを上げた。そして、私は生保の仕組みというものについて、戦後60年、際だった見直しはなされてこなかったということについての国の責任が大きいと思っている。全国知事会と全国市長会で給付の適正化についての提言をしているので、このことについて時間をかけて一生懸命検討してほしいと申し上げた。

最後に厚生労働大臣から生活保護の仕組みについて、研究をしたいという趣旨の発言があったので、私はその言葉について、期待をするということを上げた。これから明日、生活保護の関係者協議会があると思うが、注視をしたいと思っている。

麻生全国知事会会長

生活保護の問題と義務教育国庫負担金の問題は、前段後段通じての話であったが、後段のところでの川崎厚生労働大臣の反応は今、山出全国市長会長がおっしゃられたとおり。あと義務教育については、小坂文部科学大臣は、大臣就任以来色々な人から色々な話を聞いていると。なんとか皆さんが受け入れられるようなギリギリの案を作るということで、自分としても色々な要素を考えながらやっているんだと。しかし、決断はしなければならないと思っているという話で、まあ言わば、川崎厚生労働大臣もそうなのであろうけれども、色々な案作りに苦悩しているという話である。

あと、小池環境大臣が出してきている案が産廃の処理の補助金であるが、これは我々の案に入っていない事項であって、地域的に非常に偏っておりこれは馴染まないとして再考をお願いしたが、なかなかそんな感じではなかった。

山出全国市長会会長

私は今日、施設補助金について、少し変わった言い方をしてみた。谷垣財務大臣から財務大臣の理論というか考えは何度も聞いていますと申し上げた。それから、公営住宅というのは引揚者の住宅から始まって今日まで来ている。それからごみの処理場、市町村の仕事である。これをしなかったら、私はクビです。街中にごみが氾濫したら、そんなもの市長としていられない。基本の仕事である。そして学校も設置主体は市町村だから、こういう仕事はずっとしてきており、市町村の仕事として慣れきっている。こういうものに対して、国が補助金を出すという政策的な意味というのはありますかと。こういうことを今日申し上げた。だからこういうものの補助金なんていうのは、地方に渡して当然である。元々こういう箱物の補助金について、色々な超過負担があったり、縛りが

かかったり、だから補助金をやめようということがあって、地方分権改革の原点である。この基本のものについての税源移譲ということについて、原点に立ち返って考えて欲しいと申し上げた。

国松市議会議長会会長

3 執行団体の方が、細目をおっしゃられたので、もう一度総論的な話をさせていただいた。小泉政権の下で、三位一体改革が始まってから自治体の数が、3,232 から 1,821 になった。合併特例法と在任特例が終わる平成 23 年には、議員の数が当時から比べると 22,000 人の削減で、財源効果として 1,200 億円ということをお願いした。さらに地方においては、合併の法定協議会をまだ継続しているところだとか、これから新規に立ち上げようとしている団体もある。その中で、今まで改革、税源の移譲を見ていると負担転嫁ということが非常に多い。その中で本当の意味の三位一体改革ではないのではないか。つまり、よく総務大臣が言うのだが、自由と責任の中で地方の裁量権を拡大していくということに反するのではないかということをお願いした。

中川全国知事会事務総長

この記者会見には出席されていないが、山本全国町村会会長は、前半 4 大臣にも後半 6 大臣での会合でも同じことを 2 回話されていた。その趣旨は、自分は中央教育審議会の委員として審議に参加してきたが、最初の審議に参加した頃には、8,500 億円を地方に移すということは、単なる数字の財源論だけであって、数字合わせではないかということ強く言われた。そういう意味ではなくて、地方の教育における自由度を高めるんだということを常々主張してきたところである。

ところが今回色々言われているところでは、3 分の 1 にするというようなことについては、まるでその地方の主張を無にするような話であって、それは一切受けられないので、是非とも地方の自由度を高め、裁量度を高めるような趣旨の改革にしていってほしいということを小坂文部科学大臣、あるいは 4 大臣に対してお話をした。

- - - - - 質疑・応答 - - - - -

A 社

先程、各大臣からの発言の説明があったが、生活保護、義務教育費、施設整備費について地方団体の方からご意見を言ったと思うが、それについて各大臣から具体的にはどういう言及があったか。

麻生全国知事会長

川崎厚生労働大臣は、厚生労働省は補助金額が大きいから削減額も大きくなったが、医療とか国としての義務的な経費を含めて、実際に動かせる金額というのはそんなに大きくないんだという話があった。それから制度論をきちんと詰めなければならないということを非常に強調されていた。そういうことで、我々の生活保護を入れるべきではない等のことについて、具体的にどうするというのをうかがわせる具体的な発言はなかった

それから小坂文部科学大臣は、自分が就任以来、この問題は非常に大きな問題として、色々な人の意見を聴き、方向を出さなければならない、と思ってやっている。そういう中であるけれども、なんとか関係者がギリギリ受け入れられるような案を作り出していきたい、そのために今一生懸命努力している。ある時になれば、きちんと判断を固めなければならないということをやっている、非常に苦労してやっているという話があった。

施設整備については、具体的な話は、川崎厚生労働大臣からはなかった。

B社

施設整備費について、谷垣財務大臣の方から、何か発言はあったのか。

麻生全国知事会長

あった。繰り返し同じようなことを言うことはない。財政論からいうと、難しいことであると。一方で、3兆円の税源移譲はこれは大事な目標であり、私もそう思っているという発言があった。

山出全国市長会会長

私は、最後に麻生全国知事会会長が言ったが、三位一体改革というのは、補助金そのものをなくして地方の自由を高めるということであって、補助率カットとは意味が違うということ。今回の改革については、理念があって欲しい。筋を通して欲しい。そういうものからかけ離れていくと我々としても大変困る。

C社

農林水産省の関係で、340億円の要望が出ていたが、額面だけは340億円回答したわけであるが、そのことについての評価とまだ不十分な点があれば。

麻生全国知事会会長

特にまだ、詳細な評価はしていないし。伝えられてるだけで、我々こういう案ですと何も公式には言われていない。公式に出ていない案を評価するとか言ったらおかしくなる。まだ内部で詰めているという建前になっていると思う。

C社

検討しないと具体的な評価はできないということか。

麻生全国知事会会長

検討はしているけれども、まだ示されている案ではないので。まだ内部的にやっているという建前ですから。

B社

厚生労働省が、4大臣の方に生活保護について、住宅補助と医療補助で3,800億円を削減するという新しい案を提示したという話があるが、何か聞かれているか。

麻生全国知事会会長

聞いていない。

D社

今日の前半の4大臣の会合で、今後の段取りについての説明はあったのか。

麻生全国知事会会長

次回については、また事務的に調整し、連絡したいということで、具体的な話はなかった。

E社

文部科学大臣からは、今日は色々な案が出ているという。

麻生全国知事会会長

色々な人が色々な案を持ってきたり、色々な意見を言ったり、それを色々聞いているという話だそうだ。

E社

案の中身までは触れていないのか。

麻生会長

今日誰かが持ってきたとかって言ってたな。高等学校の給料相当分がどうのこうのと。

中川全国知事会事務総長
自民党の文教部会である。

F社

午後に開かれた「正副会長等緊急対策会議」で、麻生会長は、データ停止も考えなければならないとかいう意見も出たと、言われていたが、先週の来年4月以降の新基準の国へ任せるという方針であるとか、報告停止を全国知事会として考えると、そのあたりの強い姿勢というのは、説明されたのか。

麻生全国知事会会長
これは、明確な言葉で申し上げた。

山出全国市長会会長
重大な決意をするということもあり得るといことも、申し上げた。

B社
事務の返上ということも、言われたのか。

山出全国市長会会長
事務の返上という言葉を使った。正確な表現ということになると記憶にない。

麻生全国知事会会長
重大な決意をして、我々はやっているんだということを非常に強く言った。

山出全国市長会会長
これは、川崎厚生労働大臣に既に渡してある。全国知事会長と私とで面談をしているし、我々の意向というのは伝わっている。

B社
それについて、特に反応はあるか。

山出全国市長会会長
いや、もう既に言ってしまうている。そういうことについて、受けないとかそういうことは一つもない。我々の強い決意があるということは、伝えている。

F社
官房長官からこの調整ぶりについての発言等は。

麻生全国知事会会長
ない。

中川全国知事会事務総長

川股全国町村議長会会長からも、今日大会をやってこの三位一体改革、色々議論して推進するべきであるという方向を確認しているという発言があった。

以上